

マーケティング・リサーチ特論 ～ガイダンス～

2026年度1学期： 金曜3限
担当教員： 石垣 司

本授業の概要

マーケティング・リサーチのためのデータ活用法

1. 統計的モデリングの方法論
2. アンケート調査の分析～因子分析, 共分散構造分析
3. ブランド選択モデルと消費者異質性分析

本授業で習得してほしい考え方

- データ分析(Analysis)から活用(Analytics)へ
- データ分析手法の数理的内容・仕組みの理解
数理的に理解することで、分析結果を盲信・過信しない

受講の前提(600番台講義)

- 微積分, 線形代数(行列計算を多用), 数理統計の知識は必須
- 回帰分析, 回帰係数の検定の知識は前提

教科書・補助資料

教科書：無し(Web上で補助資料配布)

Google Classroomに**講義スライドをアップロード**

- **資料の誤記を見つけたら教えてください**
- **私のHPにも講義スライドをアップロード**

http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~isgk/lec_material/mr_grad.html

Google Classroomコード:「**37mq7sfi**」

成績の付け方

成績の付け方：レポート100%

- 履修確認は必ず各自で行うように
- 正規の手続きによる追試験以外は、追試や代替レポートなどの代替措置を認めない

教員の連絡先

- Google classroom か e-mail を用いて連絡
- e-mail: isgk “at mark” tohoku.ac.jp
- 履修登録などに関する質問などは随時受付
数式の説明などはメールでは対応できないので不可
最低限のマナーとして、氏名と学籍番号を記載してメールを送信。その記載のないメールには返信しない

プログラミングについて

Python や R を用いたプログラミングを推奨

- 基本的な使い方は各自で習得すること
- ダウンロードとインストールは各自で行うこと
- 参考書は多数. Web情報のみで十分な情報は得られる

習うより慣れろ

- 講義を聞いてもプログラミングは上達しない
- 生成AI(ChatGPTなど)を活用しよう
- 実際に試行錯誤する過程で上達する

データセット

- 講義内では主に以下を参照する

C. Chapman, E. Feit “R for Marketing Research and Analytics” Springer (2015)

G. James, et al. “An Introduction to Statistical Learning” Springer (2013)

守口、岡太「マーケティングのデータ分析」朝倉書店(2010)

参考書

「マーケティングの統計モデル」

– 佐藤忠彦, 朝倉書店 (2015)

「Rによるマーケティング・データ分析」

– ウィラワンドニ ダハナ, 勝又壮太郎, 新世社 (2023)

「ベイズモデリングによるマーケティング分析」

– 照井伸彦, 東京電機大学出版局 (2008)

